

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

活動団体名：真庭市

活動地域：岡山県真庭市

活動におけるテーマ

真庭版地域循環共生圏の創造

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

- ◆ 最上流部に位置する自治体の責務として、森里川海連携の推進
- ◆ 再生可能エネルギー自給率100%を目指したバイオマスの多様な活用

真庭版地域循環共生圏（真庭ライフスタイル）

多彩な地域性+多様な地域資源+住民の思い ⇒ 真庭ライフスタイルの実現



地域の現状と課題

地域の現状

◎ 地域の概要

- ・国立公園蒜山に源流を発する旭川の最上流部に位置する中山間の杜市
- ・市域の8割が森林で、西日本有数の木材の集散地（「里山資本主義・真庭の挑戦」がスローガン）

◎ 地域の特性（強み・弱み）

- ・木質バイオマス発電、CLT等の新産業、生ごみ由来の液肥の農業利用など、地域資源の循環利用の取組が評価され、SDGs未来都市に選定。「持続的な中山間地域」を目指す。
- ・地方創生への取組にかかわらず、人口減少と偏在化が進行。人口減少対策が最大の課題

◎ 地域資源

- ・ジャージー酪農が支える蒜山の草原景観
- ・隈研吾氏設計のCLTオブジェを蒜山高原に移設
- ・北房のホテルや勝山の歴史的町並み
- ・真庭なりわい塾、起農スクールなどを通じたUターン者などの多彩な人材



課題

◎ 現状から考える地域の課題

- ・森林、草原、中山間、歴史的町並み、林業・バイオマス産業、Uターン者など多様な資源があるが、市域が広域（東京都23区の1.3倍）で、有機的な連携・活用が課題（EDIT MANIWAの推進）

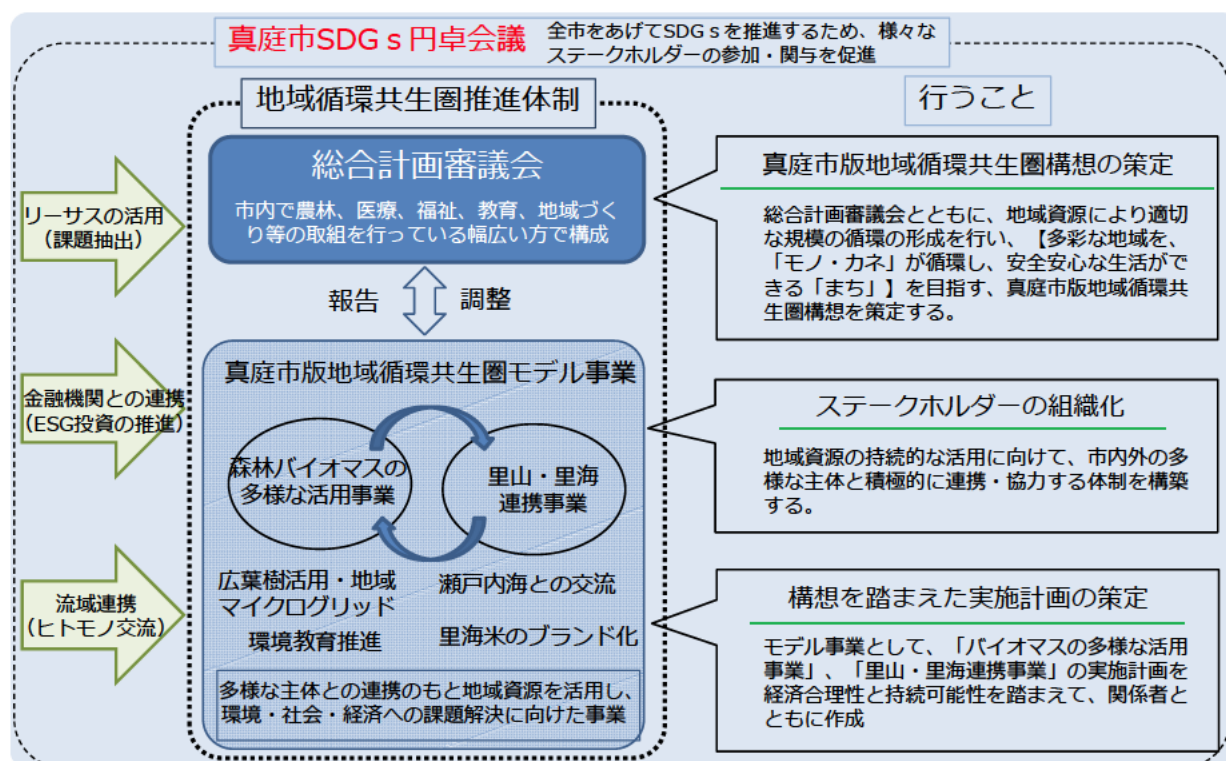
◎ 今後取り組むべき課題

- ・森林資源のフル活用により、再生可能エネルギー自給率100%を目指す。
- ・環境学習、農業資源・草原景観の活用等による質の高い滞在型観光を推進。
- ・生ごみ由来の液肥の農業利用や瀬戸内海のカキ殻を利用した米づくりなど、有機資源循環や森里川海連携による農業をスマート農業技術により推進

◎ 地域循環共生圏を活用する課題

- ・リーサス（地域循環経済分析）を活用した「回る経済」の構築
- ・森里川海をテーマにした農業生産、環境保全活動等による人と資源の交流・連携
- ・産学官金連携によるSDGs、ESGの取組の推進

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために



今後の事業取り組み予定

真庭版地域循環共生圏モデル事業

【里山・里海連携事業】

海と山は、いのちでつながっている
～里山・里海連携による「真庭里海米」の展開



【里地・里山の分布(環境省)】



【SDGsをテーマにした「真庭里海米」】

岡山県一の河川・旭川の源流の真庭市は、全国有数の里山の宝庫。アマモ再生に取り組む瀬戸内海の漁業者と連携し、森のミネラルで育まれたカキの殻を土壌改良剤として水田に還元する「真庭里海米」を生産。この取組と連動して、日本有数のホタルの里・真庭市北房地区でホタルの住み続けられる環境づくり等を推進。

また、ドローン等のスマート農業技術を活用したきめ細かな防除や効果的な施肥、土壌健全度分析等により、環境保全型農業の「見える化」を推進。

【ステークホルダー】

- ・瀬戸内かきからアグリ推進協議会 (JAグループ岡山、岡山コープ、日生漁協、真庭市、備前市等)
- ・SDGs 未来杜市・真庭スマート農業オープンラボ (農業者、岡山大学、農業高校、ドローン研修機関等)
- ・北房まちづくり会社 (ホタルを活用した観光地域づくり)

【バイオマスの多様な活用事業】

再生可能エネルギー自給率100%を目指して
～持続的利用可能な「薪炭林」の復活



【間伐材・製材端材の集積基地】



【移動式鳥獣解体処理施設「ジビエカー」】

間伐材・製材端材に加え、森林面積の4割を占める広葉樹林を木質バイオマス発電燃料として循環利用 (萌芽更新) するとともに、災害時にも地域に電力を供給できる「地域マイクログリッド」を導入し、再生可能エネルギー自給率100%を目指す (現行33%)。

整備された広葉樹林は、シカなどの鳥獣被害の緩衝帯となり、ジビエカーを活用し、高い衛生基準をクリアしたジビエの普及を図る。

【ステークホルダー】

- ・森林組合、素材生産業者 (木材伐採、生産業者)
- ・真庭木材事業協同組合 (木質バイオマス燃料調製)
- ・真庭バイオマス発電所、笠岡市・新見市等の木質バイオマス発電所 (木質バイオマス燃料の需要先)
- ・中国電力、中国経済産業局 (地域マイクログリッド)
- ・真庭地域猟友会 (鳥獣対策、ジビエ利用)

スケジュール (令和元年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動回体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定			リーサス勉強会	リーサス勉強会	リーサス勉強会	リーサス勉強会	SDGs 円卓会議			真庭市総合計画審議会		
				金融機関関連会議 (域内ESG投資の促進)						真庭市版地域循環共生圏構想策定		
ステークホルダーの巻き込み	(里山・里海連携事業)		環境学習交流		コープ等での販売				漁業者・消費者との交流活動			
				(下流域との連携・協力)						真庭里海米の生産・流通の拡大 (JA・農家・販売業者)	学校給食への提供	ブランド価値の向上
										(バイオマスの多様な活用事業)		
										真庭市林業・木材産業成長化検討会、地域マイクログリッド検討会		
										地域の林業・木材産業、発電事業者と、技術的課題、経営収支等について検討		